

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立羽田中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-8081
豊橋市西羽田町 43 番地の 1

E-mail hada-j@toyohashi.ed.jp

Website http://www.hada-j.toyohashi.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 263 名 女子 236 名 合計 499 名
幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度＋活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「雨ニモマケズ～明るく・たくましく、心豊かな人間の育成をめざし、心身ともに調和のとれた生徒を育てる～」を学校理念として、ESD を心豊かな人間の育成の基盤と捉え、ESD の実践を通して他者と協力する態度や多面的、総合的に考える力の育成を目標とした。

具体的には、「互いの立場を理解する」「他者と協力する」を柱に、①地域に係わる活動、②他者と係わる活動を行った。

① 地域に係わる活動

牟呂用水浄化活動を通して、環境について考えると同時に自分たちの生活する地域を大切にするという心を育みたいと願い、この活動がある。1 年生が地元の小学 4 年生とグループになり浄化活動を行った。小学生と一緒に活動することで、活動内容等に細かな気配りが見られた。また、活動を通してごみや雑草がたくさんあることを実感し、どうしたらごみがなくなるか、もっと美しく保つにはどうすべきか、考えるきっかけとなった。2、3 年生は、校区内にある公園や神社、公共施設の清掃活動を行った。

また、文化祭に行われた各学級の企画では、地域の人たちにも楽しんでもらえる企画があり、大勢の来校者があった。地域の人たちが喜んでる姿を見た

生徒たちは、つながりを実感していた。

② 他者と係わる活動

「困っている人たちのために自分たちができることは何か」ということを考えるきっかけになればと願い、復興支援募金活動が継続して行われている。校内だけの募金活動ではなく、ボランティアを募り街頭募金もおこなっている。豊橋駅で、駅を利用する人たちに大きな声を出して募金を呼び掛けている。

1年生では、福祉学習の一環としてバリアフリーやユニバーサルデザインについての学習をすすめた。

また、全校生徒にボランティアを募り、毎年「掃除に学ぶ会」に参加している。



① 牟呂用水浄化活動



① 校区清掃活動



②街頭募金



②掃除に学ぶ会

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(地域)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 長期休業中)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<p>・ももっちと見つけるユニバーサルデザイン</p>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>牟呂用水浄化運動や校区清掃は、総合的な学習の年間計画に組み込まれている。街頭募金活動などのその他の活動も、学校の年間行事予定に明記している。しかし、教科横断的な指導計画にはまだなっていないので、ESD カレンダーを作成する必要があると感じている。牟呂用水浄化運動では、現地の映像を見せたり、昨年度の様子を伝えたりすることで、生徒たちに問題意識をもたせ、活動に取り組むことができている。他の活動でも、生徒たちにどのような方法で問題意識をもたせていくのが有効なのか検討している。</p>
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

<p>ESD 担当が校務分掌の中に位置づけられている。そして、総合的な学習、特活部長と連携して ESD の活動がすすめられている。また、各学年の役割分担として年度当初に各活動の担当者が決められ、担当者を中心に活動がすすめられている。</p> <p>活動計画やワークシートなどは、校務用サーバーに保存し次年度に活用しやすいようになっている。</p>

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各活動の後には、生徒たちに振り返りのアンケートを実施し、生徒の自己評価を次回の活動に生かしている。保護者の方には、毎年行われる学校評価のための教育活動アンケートの項目の中に、「お子さんは、募金やアルミ缶回収などのボランティア活動に積極的に参加していますか」がある。保護者の回答では、11.3%が「そう思う」34.6%が「どちらかと言えばそう思う」である。生徒たちの意識が本物になれば、保護者のアンケートでももっと高い数字の回答が得られるはずである。生徒たちの意識を更に高める必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

学校新聞、PTA 新聞、健全育成会新聞に活動の内容を紹介している。写真や生徒たちの活動後の感想を載せている。また、学級担任が学級通信で生徒たちの感想を紹介している。特に、健全育成会新聞は、羽田中校区のほぼ全世帯に配付されるので、地域の方に活動を知ってもらうよい機会になっている。来年度は、学校のホームページを活用したいと考えている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

「日本を美しくする会」に所属する「豊橋掃除に学ぶ会」の指導のもと、毎年、本校で「掃除に学ぶ会」を実施している。今年度は、6月25日に文部科学省後援記念大会を実施した。自分たちの心を磨き、気づく心を育てるという考えのもと、掃除に学ぶ会の会員の方から学んでいる。今後、校区清掃では、地域の自治会等と連携した活動を考えていきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

近隣のユネスコに加盟している小学校との交流は、あいさつ運動や、牟呂用水浄化運動を合同で行っている。しかし、その他のユネスコスクールとの交流は図れていない。研修会等に参加をし、他のユネスコスクールとのつながりを広げたいと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

心豊かな人間の育成の基盤として ESD を捉え、あいさつを日常生活の中で推奨している。生徒たちが挨拶する姿を見た保護者や地域の方からお褒めの言葉をいただいている。PTA 新聞には、「すれちがったときに、羽田中生から爽やかな挨拶をされ、こちら側の襟が正される気持である」と紹介された。

牟呂用水浄化活動では、地域の用水の掃除を通して、地域や環境保全に目を向ける生徒が多数いた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

【1年生】

○福祉活動 5月～ 6月

○牟呂用水浄化活動 9月～11月

【2年生】

○校区清掃活動 9月～11月

【3年生】

○校区清掃活動 9月～11月

【全校生徒】

○あいさつ運動 通年

○掃除に学ぶ会 6月

○文化祭 学級企画 6月～ 9月

○街頭募金 3月